

新生・フラトンVPICファンド

追加型投信 / 海外 / 株式

月次レポート 1/8
2023年2月28日現在

新生インベストメント・マネジメント株式会社は、2023年4月1日にSBIアセットマネジメント株式会社と合併を予定しています。
なお、SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社とし、合併後はSBIアセットマネジメント株式会社となる予定です。

<ファンドの特色>

- 主にVPIC^{※1}の株式等^{※2}に投資し、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。
- 国別の投資割合は、原則としてベトナム:20%、パキスタン:20%、インド:30%、中国:30%を基本とします。^{※3}
- ※1 VPICとは、ベトナム・パキスタン・インド・中国のことを指します。中国の株式は、香港証券取引所等に上場している中国本土関連銘柄を含みます。
- ※2 株式等とは、投資対象国の証券取引所またはそれに準ずる市場で取引されている株式に加え、当該株式や株価指数と同様の投資成果を得られると判断される有価証券等のことです。
- ※3 各国への投資割合は±10%の範囲内で変動させます。
- (注)市場の流動性等の事情により、国別投資割合が上記の範囲を超える場合があります。
- 実質組入外貨建て資産について、為替ヘッジは原則として行いません。
- 主にVPICの株式等への投資を行う円建て外国投資信託証券「Fullerton VPIC Fund Class A Units」への投資割合を高位に保つことをめざします。

【基準価額・純資産総額】

	2023/2/28	2023/1/31	前月比
基準価額	13,805円	14,015円	-210円
純資産総額	31億円	31億円	-0.7億円

* 基準価額は1万口当たりとなっています。

【ファンドの騰落率(分配金再投資)】

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.50%	-3.10%	-10.37%	-5.77%	34.70%	44.25%

- * 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後、分配金再投資基準価額です。上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
- * 分配金再投資基準価額とは、基準価額に収益分配金(課税前)を、その分配が行われる日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、当社が公表している基準価額とは異なります。
- * 騰落率は各月末営業日で計算しています。(各月末が休業日の場合は前営業日の値で計算しています。)

【分配金実績(1万口当たり、課税前)】

	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	合計
500円	0円	0円	0円	0円	0円	500円

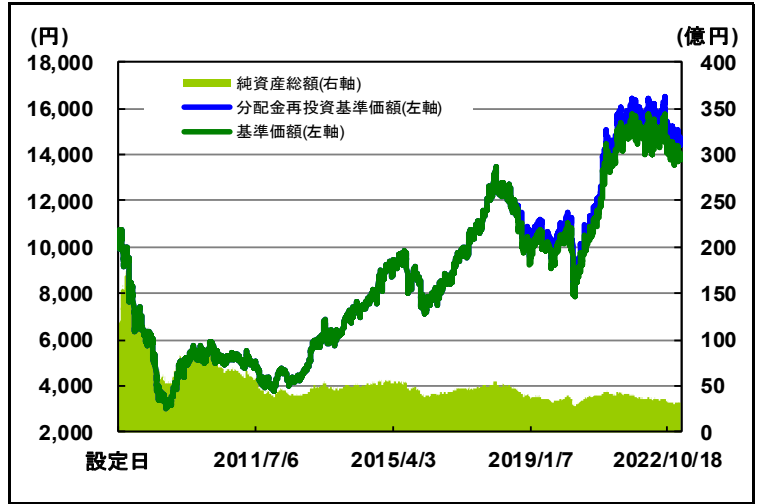
- * 分配金は過去の実績であり、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
- * 分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

【運用資産構成比率】

Fullerton VPIC Fund Class A Units	98.0%
新生 ショートターム・マザーファンド	0.2%
短期金融商品等	1.9%
合計	100.0%

- * 運用資産構成比率は純資産総額に対する評価額の割合で、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- * 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

【基準価額・純資産総額の推移】

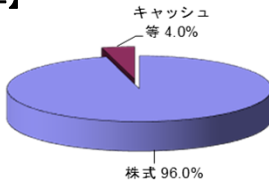


- * 基準価額は、信託報酬控除後の値です。
- * 投資先ファンドの運用管理費用を含めた実質的な信託報酬率は、純資産総額に対して年率2.132%(概算、税込)です。詳細は、【お申込みメモ】の【信託財産に間接的にご負担いただく費用】の項目をご覧ください。
- * 上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
- * 上記グラフの2008年10月8日から2009年1月6日までの期間は、暫定の基準価額、純資産総額に基づいておりますのでご注意ください。

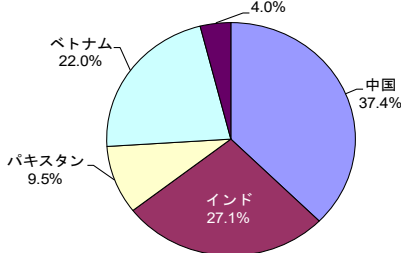
投資先ファンドの状況

(ご注意)以下のレポートは当ファンドの主な投資対象であるFullerton VPIC Fund Class A Unitsに関するものです。
以下のポートフォリオ分析はすべて現地月末最終営業日の数値を使用しています。また、各グラフの比率は四捨五入の関係上合計が100%にならない場合があります。

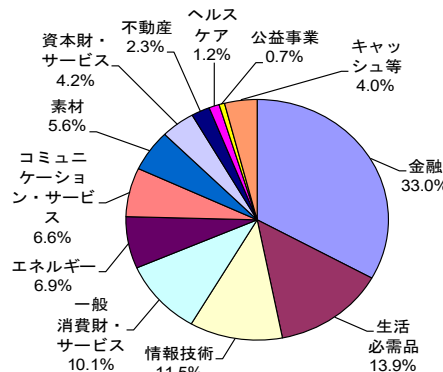
【運用資産構成比率】



【国別配分(先物含む)】



【業種配分】



組入銘柄数 48

- * 上記の各比率は純資産総額に対する業種別評価額合計の割合で、小数点第2位以下を四捨五入しています。
- * 上記の業種は、MSCI/S&P GICSの業種区分に基づいています。
- * MSCI/S&P GICSとは、スタンダード・アンド・アズ・アズとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(Global Industry Classification Standard=GICS)のことです。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、流動性のある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

以下のコメントは、Fullerton VPIC Fund Class A Units(以下、「投資先ファンド」といいます。)の運用担当者のコメントをもとに作成したものです。また、下記の見通しは当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合がありますのでご注意ください。

【投資環境】

アジア株式市場は、2月に前月末比で約7%下落し、1月の上昇分をほぼ吐き出しました。米国において1月のインフレ指標が市場予想を上回ったことで、FRB(米国連邦準備制度理事会)による利上げが一段と大幅かつ長引くという懸念が改めて浮上してきました。この結果、米ドルが他通貨に対して上昇するとともに、アジアを含む新興国の株式市場が下落しました。加えて、今年発表された中国の経済指標は、国内消費の回復が市場予想よりも遅れていることを示唆するものとなり、市場心理に後ろ向きな影響を及ぼしました。

2月のベトナム株式市場は、アジア地域の他の株式市場同様に下落し、ベトナムVN指数は前月末比-7.8%となりました。信用収縮によって不動産開発業者は苦戦を強いられており、ベトナムの不動産業界は依然として困難な状況が続いています。経済指標関連では、2月のS&Pグローバル・ベトナムPMI(購買担当者景況指数)が、2022年10月以来景況判断の分かれ目とされる50を上回り、51.2となりました。2月の小売売上高は、前月比-6.0%、前年同月比+13.2%となりました。

2月のパキスタン株式市場は、カラチKSE100指数が前月末比-0.4%と、ほぼ横ばいでした。国内のインフレ圧力は依然衰えず、2月のCPI(消費者物価指数)上昇率は前年同月比+31.5%と1月の同+27.5%から更に上昇しました。パキスタン政府は、IMF(国際通貨基金)の支援を得るべく、為替の自由変動相場制、緊縮財政措置、ガス価格の引き上げ等、様々な方策を講じています。

インド株式市場は、2月も軟調な展開となりましたが、下落幅はアジア株式市場全体と比較して小幅にとどまりました。インドCNX NIFTY指数は前月末比-2.0%でした。1月のCPIは市場予想を上回る前年同月比+6.5%となりました。12月の同+5.7%からも加速しており、4月に開催されるMPC(金融政策委員会)で更なる利上げの可能性が高まりました。2月のS&Pグローバル・インド製造業PMIは55.3と1月の55.4からほぼ横ばいでした。サービスPMIは59.4と12年ぶりの高水準となりました。

2月の中国の株式市場は下落し、ハンセン中国本土企業株25指数は前月末比-10.0%で取引を終えました。発表された経済指標は概ね堅調でしたが、市場予想を下回る数字が多かったことから、株式市場では国内消費など将来の見通しに対して失望感が広がりました。一方、中国国家统计局が発表した2月の製造業PMIは、市場予想を上回り、2012年4月以来最高値の52.6となりました。サービスセクターもまた力強い回復を見せており、2月の非製造業PMIは、2021年3月以来最高の56.3でした。市場関係者の注目は、3月5日から開催される全国人民代表大会(全人代)に向かっています。

【今後の見通し】

投資先ファンドでは、アジアの株式市場の見通しについて前向きに捉えています。中国国内の消費回復、北アジアにおけるテクノロジー・バリュー・チェーン※の回復基調、そしてインドやインドネシア等内需ウエイトの高い経済圏の健全な経済成長が、企業業績の回復をもたらすと考えているからです。特に中国政府は、2022年第4四半期(10~12月)にゼロコロナ政策から方向転換し、2023年に国内消費が持続的な回復を実現できるよう準備を整えています。実際、一部の経済指標には、2023年第2四半期(4~6月)までに経済活動の拡大を期待させる兆候が見られます。過去1年にわたって中国の消費が抑えられていたことも相まって、今後半年の間に消費回復のペースが加速する、と投資先ファンドでは考えています。経済活動再開の他にも、中国政府は、引き続き財政および金融の両面で経済成長を支援しています。また、不動産開発業者を支援し、金融市場を取り巻くリスクを減じる戦略を全国的に展開し、不動産市場における難題に取り組むことにも着手しています。

中国以外を見ると、北アジアのテクノロジー・バリュー・チェーンも、2022年に経験した在庫調整局面の後は回復の兆しを示しています。半導体に対する潜在的な長期需要は引き続き底堅く、今後の景気回復を下支えすることになると見られています。もっとも重要なことは、アジア地域の企業の収益見通しに概ね底打ち感が出てきており、企業業績の上昇修正が見られるようになったということです。中国では、経済活動再開以降、GDP(国内総生産)成長率の見通しが大きく上方修正されていますが、これまでのところ収益見通しを修正した企業はそれほど多くありません。今後企業業績の上方修正が増えてくれば、株式市場好転の大きなきっかけになると考えられます。

アジア株式市場は、過去数カ月にわたって回復を続けていますが、PER(株価収益率)の点では引き続き割安といえる水準で取引されています。ただ、今後の株式市場の上昇は、株価評価の見直しよりも、主に企業業績の改善によってもたらされるところが大きいと考えられます。前述のとおり、企業業績の上方修正の動きが広がっていけば、株式市場の支援材料となるでしょう。

アジア株式市場の見通しを考えるにあたって、1)中国における政策の変更、2)アジアを含む新興国市場の見直しに繋がるようなインフレ見通しやFRBの金融政策の行方、3)輸出依存型のセクター／国に影響を及ぼす欧米地域での深刻な景気後退の可能性、4)米国や中国、EU(欧州連合)、ロシアなどの国／地域を巡る地政学的リスクの動向、などの点を注視していく必要があると考えています。

※テクノロジー関連企業の各事業活動における価値創造の一連の流れのことをいいます。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

【組入上位10銘柄のご紹介】

現地月末最終営業日の新生・フラトンVPICファンドの投資先ファンドの組入上位10銘柄の概要です。

	銘柄名	国	セクター	銘柄説明	組入 ^(注) 比率
1	FPT Corp FPT	ベトナム	情報技術	情報通信技術会社。携帯電話機販売、システムインテグレーション、ソフトウェアのアウトソース受託および開発、インターネットおよびe-メディア・コンテンツ政策、コンピュータ組み立てなどのサービスを提供。従業員37,882人(22年3月)。売上高35兆6,572億ベトナム・ドン(21年12月)。	9.1%
2	JSC Bank for Foreign Trade of Vietnam ベトナム外商银行	ベトナム	金融	商業銀行。主な業務は、預金、個人・法人向けローン、外国為替、クレジットカード提携など。従業員数22,460人(22年9月)。純利益19.8兆ベトナム・ドン(21年12月)。	6.3%
3	HDFC Bank Ltd HDFC銀行	インド	金融	商業銀行。グローバルな企業に金融サービスを提供。コーポレートバンキングおよびカスタディ業務を行うほか、トレジャリー、キャピタルマーケット部門における業務にも注力。アドバイザー業務ならびに、国際預託証書(GDR)、ユーロ建て融資、ユーロ建て債券などのマネーマーケット商品の販売も手掛ける。従業員数141,579人(22年3月)。純利益3,800億インド・ルピー(22年3月)。	6.2%
4	Tencent Holdings Ltd 騰訊(テンセント・ホールディングス)	中国	コミュニケーション・サービス	子会社を通じて、ソーシャルネットワーク、音楽、ゲートウェイ・ウェブサイト、電子商取引、モバイルゲーム、決済システム、エンターテインメント、人工知能および技術ソリューションなどのサービスを提供する。世界各地で事業を展開。従業員数108,836人(22年9月)。売上高5,601億中国人民元(21年12月)。	5.4%
5	ICICI Bank Ltd. ICICI銀行	インド	金融	インド全土に支店網を有する商業銀行。リテールおよび法人業務に加え、外為、資金、財務管理サービスを手掛ける。投資、保険、融資などの各種サービスも提供する。従業員103,010人(22年3月)。純利益2,510億インド・ルピー(22年3月)。	4.7%
6	Reliance Industries Ltd リライアンス・インダストリーズ	インド	エネルギー	石油化学品および繊維メーカー。石油化学部門では、ジエムナガルに石油精製工場を所有し、ガソリン、灯油、液化石油ガス(LPG)などの幅広い製品を製造。繊維部門では、合成繊維、テキスタイル、混紡糸、ポリエステル・ステープルファイバーを製造、販売。従業員数342,982人(22年3月)。売上高6兆9,996億インド・ルピー(22年3月)。	3.8%
7	China Construction Bank Co 中国建設銀行	中国	金融	銀行。預金、貸出、資産管理、外国為替、その他のサービスを提供。個人・法人・およびその他の顧客を対象に事業を展開。従業員数347,319人(22年6月)。純利益2,980億中国人民元(21年12月)。	3.6%
8	Engro Corporation Ltd アングロ	パキスタン	素材	肥料メーカー。肥料・プラスチックの製造・販売、発電、食品加工に従事。窒素・リン酸・混合肥料、ポリ塩化ビニル樹脂、産業オートメーション製品の製造をはじめ、発電所開発、乳製品製造、液化石油ガス・液状化学品ターミナル運営を手掛ける。従業員2,766人(21年12月)。売上高3,115億パキスタン・ルピー(21年12月)。	3.2%
9	Hindustan Unilever Ltd ヒンドゥスタン・ユニリーバ	インド	生活必需品	生活用品・食品メーカー。石鹸、洗剤、パーソナルケア用品および加工食品を製造、販売。アイスクリーム、食用油、肥料、ハイブリッド・シードの製造も手掛ける。従業員12,060人(22年3月)。売上高5,154億インド・ルピー(22年3月)。	3.1%
10	Vietnam Dairy Products JSC ベトナム乳業(ビナムルク:ベトナム・デイリー・プロダクツ)	ベトナム	生活必需品	食品・乳製品メーカー。主な製品は、牛乳、コンデンスミルク、粉ミルク、ヨーグルト、アイスクリーム、チーズ、クッキー、コーヒー、ミネラルウォーターなど。従業員9,812人(22年9月)。売上高60兆9,191億ベトナム・ドン(21年12月)。	3.1%

出所: Bloomberg、各社ホームページをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成

*上記銘柄の説明は投資先ファンドにおける銘柄のご理解を深めていただくために作成したものです。当資料に記載された銘柄の上昇・下落を示唆するものではありません。また当資料に記載された銘柄への投資を推奨するものではありません。

*上記業種は、MSCI/S&P GICS※の業種区分に基づいています。

※ MSCI/S&P GICSとは、スタンダード・アンド・プアーズとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(Global Industry Classification Standard =GICS)のことです。

(注)組入比率は投資先ファンドの純資産総額に対する比率です。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

新生・フラトンVPICファンド

追加型投信 / 海外 / 株式

月次レポート 4/8
2023年2月28日現在

現地月末最終営業日の新生・フラトンVPICファンドの投資先ファンドの組入上位11位-48位の全銘柄です。

	銘柄名	国	セクター	比率(注)		銘柄名	国	セクター	比率(注)
11	MEITUAN DIANPING-CLASS B	中国	一般消費財・サービス	2.7%	30	DABUR INDIA LTD	インド	生活必需品	1.1%
12	LARSEN & TOUBRO LTD	インド	資本財・サービス	2.4%	31	NARI TECHNOLOGY CO LTD-A	中国	資本財・サービス	1.0%
13	CHINA MERCHANTS BANK CO LTD	中国	金融	2.3%	32	MCB BANK LTD	パキスタン	金融	1.0%
14	PING AN INSURANCE GROUP COMPANY OF CHINA LTD	中国	金融	2.2%	33	BUDWEISER BREWING CO APAC LT	中国	生活必需品	1.0%
15	AIA GROUP LTD	中国	金融	2.2%	34	PROYA COSMETICS CO LTD-A	中国	生活必需品	1.0%
16	HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	中国	金融	1.9%	35	CHINA RESOURCES ENTERPRISE	中国	生活必需品	1.0%
17	KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	中国	生活必需品	1.9%	36	TRIP.COM GROUP LTD	中国	一般消費財・サービス	1.0%
18	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	中国	一般消費財・サービス	1.8%	37	BYD CO LTD -A	中国	一般消費財・サービス	0.9%
19	ZIJIN MINING GROUP CO LTD-H	中国	素材	1.8%	38	SHENZHEN MINDRAY BIO-MEDIC-A	中国	ヘルスケア	0.9%
20	MASAN GROUP CORP	ベトナム	生活必需品	1.7%	39	LONGFOR PROPERTIES	中国	不動産	0.9%
21	TITAN CO LTD	インド	一般消費財・サービス	1.6%	40	SHENZHEN INOVANCE TECHNOLO-A	中国	資本財・サービス	0.7%
22	PAKISTAN OIL FIELDS LTD	パキスタン	エネルギー	1.5%	41	HUB POWER COMPANY LTD	パキスタン	公益事業	0.7%
23	UNITED BANK LTD	パキスタン	金融	1.5%	42	PAKISTAN PETROLEUM LTD	パキスタン	エネルギー	0.7%
24	CHINA RESOURCES LAND LTD	中国	不動産	1.5%	43	HOA PHAT GROUP JSC	ベトナム	素材	0.6%
25	CHINA INTERNATIONAL TRAVEL-A	中国	一般消費財・サービス	1.4%	44	MARUTI SUZUKI INDIA LTD	インド	一般消費財・サービス	0.6%
26	INFOSYS TECHNOLOGIES LTD	インド	情報技術	1.3%	45	OIL & GAS DEVELOPMENT CO LTD	パキスタン	エネルギー	0.5%
27	BHARTI AIRTEL LTD	インド	コミュニケーション・サービス	1.2%	46	PAKISTAN STATE OIL CO LTD	パキスタン	エネルギー	0.4%
28	MILITARY COMMERCIAL JOINT	ベトナム	金融	1.2%	47	WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	中国	ヘルスケア	0.3%
29	TATA CONSULTANCY SERVICES LTD	インド	情報技術	1.1%	48	JD.COM INC - CL A	中国	一般消費財・サービス	0.1%

出所: Bloombergをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成

*上記の銘柄にはPノート(株式や株式指数と同様の投資効果を得られると判断される有価証券)が含まれます。

*上記業種は、MSCI/S&P GICS※の業種区分に基づいています。

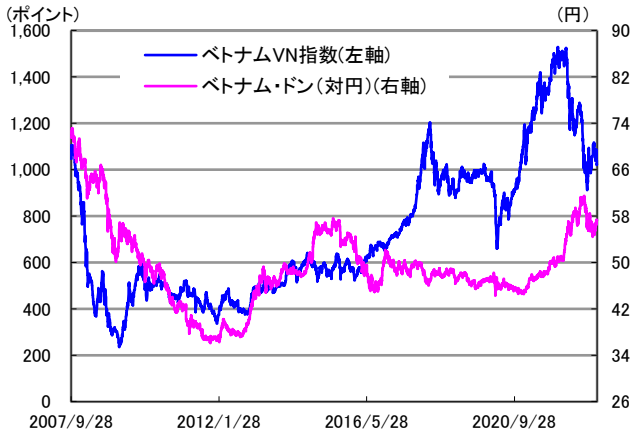
※ MSCI/S&P GICSとは、スタンダード&プアーズとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(Global Industry Classification Standard =GICS)のことです。

(注)組入比率は投資先ファンドの純資産総額に対する比率です。

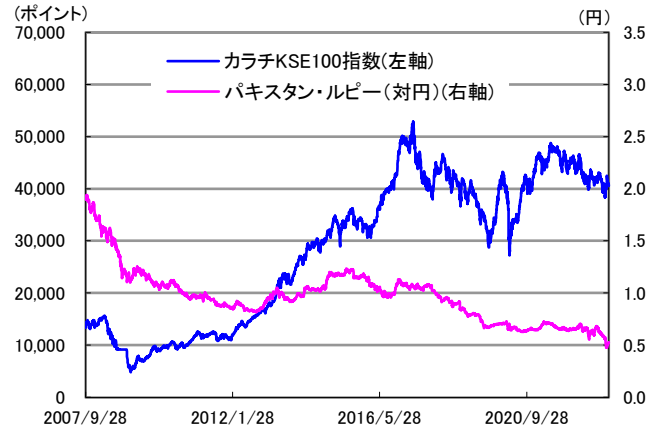
当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

各市場の株式指数と為替の動き

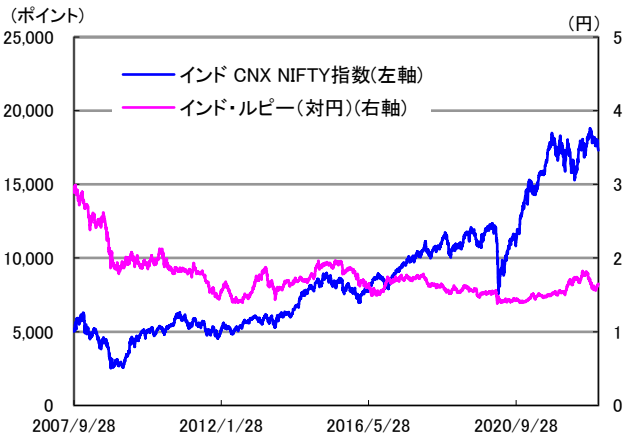
●ベトナム●



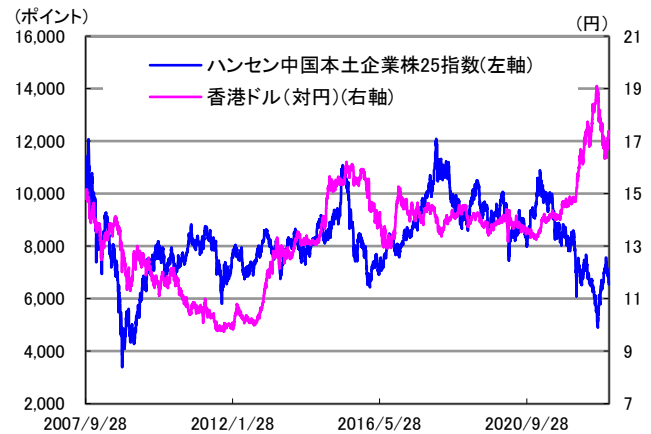
●パキスタン●



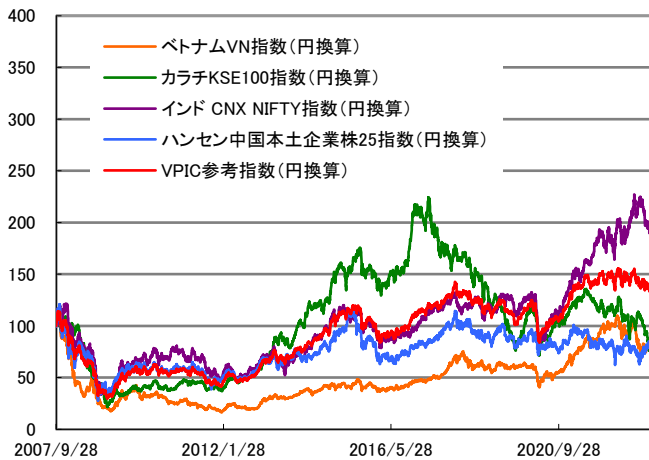
●インド●



●中国●



●VPIC参考指数の推移●



(注)ベトナム・ドン(対円)の為替レートは、10,000ベトナム・ドン当たりの円表示となっています。

- * 1 ベトナムVN指数は、ホーチミン証券取引所上場の全銘柄からなる時価総額加重平均指数です。2000年7月28日を基準日としています。
- * 2 カラチKSE100指数は、パキスタン証券取引所の34業種それぞれから時価総額が最上位の企業を選定し、さらに、業種にかかわらず時価総額上位66社を加えた計100銘柄で構成されます。
- * 3 インド CNX NIFTY指数は、浮動株調整時価総額加重平均指数です。ナショナル証券取引所に上場する大手企業からなる主要株価指数。市場の24セクターを代表する50銘柄で構成されます。
- * 4 ハンセン中国本土企業株25指数は、ハンセン中国本土企業浮動株指数のサブインデックスです。ハンセン中国本土企業浮動株指数の調整時価総額上位25銘柄で構成されます。
- * 5 VPIC参考指数(円換算)は、ベトナムVN指数、カラチKSE100指数、インド CNX NIFTY指数、ハンセン中国本土企業株25指数の各指数(円換算)を20%、20%、30%、30%の基本構成比に基づき、新生インベストメント・マネジメントが独自に算出したものです。2007年9月28日を100として指数化しています。

出所: Bloomberg

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

【投資リスク】投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドは、組入れた有価証券等の値動きにより、基準価額が大きく変動することがありますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、外貨建て資産に投資した場合、為替変動リスクも加わりません。したがって、ファンドにおける投資者の皆様様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。ファンドのリスクは下記に限定されるものではありません。

《主な基準価額の変動要因》

1. 価格変動リスク(株価変動リスク)

当ファンドは、主として投資信託証券を通じて株式に投資します。一般的に株式の価格は、発行企業の業績や国内外の政治・経済情勢、金融商品市場の需給等により変動します。また発行企業が経営不安となった場合などは大きく下落したり、倒産等に陥った場合などは無価値となる場合もあります。実質的に組入れた株式の価格の下落は基準価額が下がる要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

また当ファンドは、先進国の金融商品市場に比べ、市場規模や取引量が比較的小さい国・地域の株式を実質的な投資対象としますが、そうした株式の価格は大きく変動することがあります。さらに、流動性が低いため、想定する株価と乖離した価格で取引を行わなければならない場合などがあり、それらのことが基準価額の下落要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

2. 為替変動リスク

当ファンドは、実質的に外貨建て資産に投資しますので、投資した資産自体の価格変動のほか、当該資産の通貨の円に対する為替レートの変動の影響を受け、基準価額が大きく変動し、投資元本を割込むことがあります。為替レートは、各国の経済・金利動向、金融・資本政策、為替市場の動向など様々な要因で変動します。

また当ファンドは、先進国の金融商品市場に比べ、市場規模や取引量が比較的小さい国・地域を実質的な投資対象としますが、そうした国・地域の為替相場は大きく変動することがあります。さらに、流動性が低いため、想定する為替レートと乖離したレートで取引を行わなければならない場合などがあり、それらのことが基準価額の下落要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

3. カントリーリスク

当ファンドは、実質的に海外の資産に投資します。このため、投資対象国・地域の政治・経済、投資規制・通貨規制等の変化により、基準価額が大きく変動することがあり、投資元本を割込むことがあります。

特に新興国は、先進国と比較して、一般的には経済基盤が脆弱であるため、経済状況等の悪化の影響が大きくなり、そのため金融商品市場や外国為替市場に大きな変動をもたらすことがあります。また政治不安などが金融商品市場や外国為替市場に大きな変動をもたらすことがあります。先進国と比較し、経済状況が大きく変動する可能性が高く、外部評価の悪化や経済危機等が起こりやすいリスクもあります。さらに大きな政策転換、規制の強化、政治体制の大きな変化、テロ事件などの非常事態により、金融商品市場や外国為替市場が著しい悪影響を被る可能性があります。自然災害の影響も大きく、より大きなカントリー・リスクを伴います。

4. 信用リスク

当ファンドは、実質的に組入れた有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに対する外部評価の変化等により基準価額に影響を受け、投資元本を割込むことがあります。

特に新興国は先進国に比べ、発行者の経営・財務状況の急激な悪化や経営不安・破綻が起こりやすいリスクがあります。

5. その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 金融商品取引所等の取引停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情がある場合等は、受付を中止することやあるいは既に受付けた注文を取消すことがありますのでご注意ください。
- 投資信託に関する法令、税制、会計制度などの変更によって、投資信託の受益者が不利益を被るリスクがあります。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。

新生・フラトンVPICファンド

追加型投信/海外/株式

月次レポート 7/8
2023年2月28日現在

【お申込みメモ】投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンド名	新生・フラトンVPICファンド
商品分類	追加型投信/海外/株式
当初設定日	2007年9月28日(金)
信託期間	無期限とします。
決算日	原則として、毎年8月26日(休業日の場合は翌営業日)とします。
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、以下のいずれかに該当する場合は、購入および換金のお申込みはできません。 ●シンガポールの銀行休業日およびその前営業日 ●ホーチミン証券取引所の休業日 ●パキスタン証券取引所の休業日 ●ボンベイ証券取引所の休業日 ●香港証券取引所の休業日
申込締切時間	午後3時までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
購入・換金単位	販売会社が定める単位とします。
収益分配	年1回の決算時に、原則として収益の分配を行います。 ※分配金を受け取る「一般コース」と自動的に再投資される「自動けいぞく投資コース」があります。なお、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額(当該基準価額に、0.3%の率を乗じて得た額)を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して、8営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 益金不算入制度、配当控除の適用はありません。

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

【直接的にご負担いただく費用】(消費税率が10%の場合)

購入時手数料	購入価額に 3.85%(税抜3.5%) を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。 ※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。	当ファンドおよび投資環境の説明・情報提供、購入に関する事務手続き等の対価です。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。	

【間接的にご負担いただく費用】(消費税率が10%の場合)

運用管理費用 (信託報酬) (括弧内数字は税抜)	当ファンドの運用 管理費用・年率 (信託報酬)	1.232% (1.12%)	信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率 ファンドの純資産総額に対し、左記の率を乗じて得た額が日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
	(委託会社)	0.407% (0.37%)	委託した資金の運用の対価です。
	(販売会社)	0.770% (0.70%)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価です。
	(受託会社)	0.055% (0.05%)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	投資対象とする投資 信託証券・年率	0.90%	投資運用の対価です。
	実質的な負担・年率	2.132%程度 (税込)	
その他の費用 ・手数料	当ファンド	財務諸表監査に 関する費用	監査に係る手数料等(年額682,000円(税込))です。 当該費用が日々計上され毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了の時にファンドから監査法人に支払われます。
		信託事務の処理に 要する諸費用等	法定書類等の作成費用、法律・税務顧問への報酬等です。 当該費用が日々計上され毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了の時にファンドから支払われます。ただし、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とします。
	投資先ファンド	保管報酬、事務代行報酬、 登録、および名義書換代行 報酬等 運営および一般管理費	保管および事務代行ならびに資産管理等に対する対価です。 監査報酬、有価証券等の売買手数料等です。

※「その他の費用・手数料」につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※ 上記のファンドに係る費用につきましては、消費税率の変更に応じて適用される料率をご参照ください。

※ 当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

【委託会社、その他関係法人】

委託会社	新生インベストメント・マネジメント株式会社(設定・運用等) 03-6880-6448(受付時間:営業日の9時~17時) ホームページアドレス: http://www.shinsei-investment.com/ 登録番号 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第340号 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社(信託財産の管理等)
販売会社	下記参照(募集・換金の取扱い・目論見書の交付等)

(2023年3月16日現在)

金融商品取引業者名(五十音順)		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)633号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
SMBC日興証券株式会社 (「ダイレクトコース」及び「投信つみたてプラン」 でのお取扱いとなります。)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
岡三証券株式会社※	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
ばんせい証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第148号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○		
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
丸近証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第35号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※ 上記協会のほか、一般社団法人日本暗号資産取引業協会に加入

新生インベストメント・マネジメント株式会社は、2023年4月1日にSBIアセットマネジメント株式会社と合併を予定しています。
なお、SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社とし、合併後はSBIアセットマネジメント株式会社となる予定です。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外資建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。